18. 19. 20
JUNE 2024

THE 12th

JAPAN OUTDOOR LEADERSHIP CONFERENCE

西多摩から考える
日本のアウトドアビジネスの未来

WEAJ

LEAVE NO TRACE Japan

ようこそ
都市と自然が融合する西多摩へ。

12 回目の Japan Outdoor Leadership Conference を東京の西多摩で開催することになりました。西多摩は首都東京の郊外でありながら、その半分以上を国立公園が占めるという、日本においても世界においても特異な地域であり、さらに人口減少、少子高齢化が進む様々な課題を抱えた地域でもあります。このような地でカンファレンスが開催されることに意味があります。

昨年、コロナ禍が一つの区切りを迎え、国内外の旅行者数は回復傾向、観光地だけではなく、地域の様々なイベントはまさにこの時を待っていたという賑わいを見せていました。コロナ禍で一気に高まったアウトドアブームは、アドベンチャーツーリズムという新しい言葉の普及でビジネスとしても大きな期待が寄せられています。

一方で、各地でオーバーツーリズムの問題が噴出し、環境負荷が高まっています。都外移動が制限されていた 2020 年夏、西多摩には都内ナンバーの車があふれていたのが印象的でした。そのようななか、2023 年、青梅市とあきる野市は、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムを提唱するＮＰＯ法人 Leave No Trace Japan との連携協定を結びました。誰もが小学校でＳＤＧｓを学ぶこの時代において、今まで以上に環境と調和した野外教育のあり方、観光のあり方を地域全体で考える必要があります。

今回のカンファレンスのテーマは「西多摩から考える日本のアウドドアビジネスの未来」です。野外教育のプロフェッショナリズムをテーマとする Wilderness Education Association Japan のカンファレンスとして正面から「ビジネス」としての野外教育やアウトドアの世界に向き合います。

明治以降の西多摩の歴史は、都市化と自然保護、そして観光のせめぎあいの歴史でもあります。この地域は常に大都市郊外として、東京であることの恩恵とそれに伴う痛みを受け取る場所であるとともに、自らも拡大する郊外の最前線として都市と自然の融合にチャレンジしてきた場所でもあります。

郊外は都市と自然の境目であり、融合する場所であるからこそ、私たちが都市と自然とどのように付き合うべきかを常に問いかけます。そして今、静かに縮小しつつある地域のなかで、アウトドアビジネスが地域活性化に果たす役割を考える。これは西多摩だけでなく日本全体を考える上でも重要なテーマです。このテーマを野外指導者、パートナーとなる自治体や企業、そして市民と一緒に考える場としたいと考えています。西多摩で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

12th Japan Outdoor Leadership Conference
実行委員長

多摩大学　経営情報学部
教授　松本祐一

西多摩から考える日本のアウトドアビジネスの未来

コロナ禍がひとつの区切りを迎え、国内外の旅行者数は回復傾向にありますが、各地でオーバーツーリズムの問題が噴出するなど、環境負荷が高まっています。観光の在り方をこれまで以上に地域全体で考える必要があります。今回のカンファレンスでは「ビジネス」として野外教育やアウトドアの世界に向き合います。

DAY1 2024年6月18日(火) 15:00-21:00

あきる野ルピア あきる野市秋川1-8

PROGRAM

15:00 開場
15:30 WEAJ総会
16:30 WEAインストラクタークリニック
18:00 受付開始
18:30 オープニングセッション
19:00 キーノートスピーチ
「世界のアウトドア産業からのエール」
20:00 アワードセレモニー
21:00 終了

PICK UP

世界のアウトドア産業からのエール

Leading EDGE, 共同オーナー兼CEO
ジャック・デュルーリー氏

WEAやLNTにおけるティーチングの基本原則であるSPECの考案者。今、日本のアウトドア産業に何が必要なのかを提言します。

DAY2 2024年6月19日(水) 09:00-21:00

S&Dたまぐーセンター 青梅市上町374

PROGRAM

09:00 フィールドワークショップ
13:00 スポンサータイム
14:00 ワークショップ①×3分科会
16:00 ワークショップ②×3分科会
18:00 リスクマネジメントクロストーク
「アウトドア現場からの命のバトン」
20:00 WEAオークション
21:00 終了

PICK UP

アウトドア現場からの命のバトン

アウトドアの現場で発生する事故の対応と救助、救命救急の現実を理解し、事故によるダメージを最小化するリスクマネジメントについて話し合います。

モデレーター
中村正雄氏（大東文化大学）

スピーカー
平井琢氏（アウトドアガイド）
岡村泰斗氏（アウトドアエデュケーター）
八櫛徳二郎氏（消防救助）
稲垣泰斗氏（救命救急医師）

DAY3 2024年6月20日(木) 09:00-18:00

S&Dたまぐーセンター 青梅市上町374

参加無料

PROGRAM

09:00 ワークショップ③×3分科会
11:00 ワークショップ④×3分科会
13:00 LNTJ総会
14:00 LNTインストラクタークリニック
15:30 シンポジウム開場
16:00 シンポジウム
西多摩から考える『持続可能なアウトドア』の未来
17:30 終了

PICK UP

西多摩から考える『持続可能なアウトドア』の未来

モデレーター **松本祐一**（多摩大学総合研究所）

LNTJ（Leave No Trace Japan）と国内の自治体として初めて地域連携協定を結んだ青梅市とあきる野市のほか、奥多摩町、檜原村の西多摩4市町村の首長が登壇いたします。

青梅市長
大勢待利明氏

あきる野市長
中嶋博幸氏

奥多摩町長
師岡伸公氏

檜原村長
吉本昂二氏

公式HP
https://weaj.jp/12jolc/

VENUE GUIDE MAP
（会場案内）

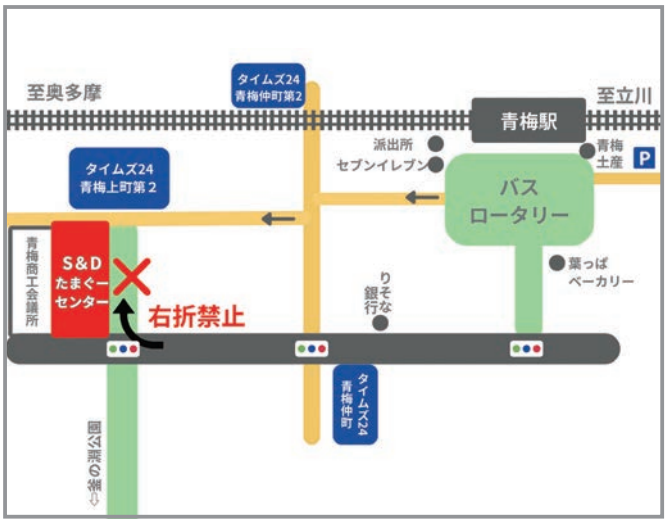
DAY1

日時：2024年6月18日（火）
会場：あきる野市ルピア

〒197-0804 東京都あきる野市秋川 1-8
電話：042-550-4700　FAX：050-3625-9123
JR 五日市線秋川駅から徒歩約 3 分

◆利用時間　9：00 ～ 22：00
◆あきる野ルピア 3・4 階諸室をご利用のお客様で、タイムズ駐車場を利用した場合に駐車券をご提示頂きますと、3 時間まで駐車無料となります。
◆また、もくせい駐車場をご利用のお客様は 4 時間まで無料となります。
　※いずれの場合も、駐車券に各利用施設で確認スタンプを押して頂いた後、3F の総合受付窓口にて駐車券の無料処理を行います。
◆ Free Wi-Fi は利用できますが、同時接続は 10 人程度

DAY2　DAY3



日時：2024年6月19日（水）・20日（木）
会場：S＆Dたまぐーセンター
（文化交流センター）

〒198-0081 東京都青梅市上町 374 番地
（青梅市民会館跡地）
電話：0428-20-7150
JR 青梅線青梅駅から徒歩約 5 分
車で青梅駅方面から旧青梅街道（都道 28 号線）を通ってくる場合は、青梅図書館入口の信号を右折してください（S&D たまぐーセンター前の信号では右折できません。）

◆利用時間　8：30 ～ 22：00
◆自転車用の利用者専用駐輪場（無料）が、建物の北側にあります。それ以外の場所は、原則駐輪禁止です。
◆駐車場の利用について
　Ｓ＆Ｄたまぐーセンターには専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください（駐車可能台数が少ないため、なるべく公共交通機関をご利用ください。）
　地図内の３か所の駐車場については、Ｓ＆Ｄたまぐーセンター貸施設利用者の割引があります（４時間まで１００円、以降 30 分ごと１００円）。
◆多摩ケーブルネットワーク株式会社の協力により、館内で Free Wi-Fi が利用できます。
　SSID：BunkaKouryu_TCN_Wi-Fi　　インターネット接続時間：1 回 3 時間（1 日 6 回まで）

KEEN

CONSCIOUSLY CREATED

地球と人にやさしいツクリカタ

このシューズで歩こう。
地球の未来のために。

私たちの旅は続きます。

「永遠の化学物質」と言われるPFASと抗菌剤の使用を止めました。
さらに有毒な接着剤も不使用に。
私たちは、このような取組みを加速させていきます。

より良いシューズで、
より良い地球を。

KEENFOOTWEAR.JP

THE 12th JAPAN OUTDOOR LEADERSHIP CONFERENCE

CONTENTS（目次）

◆ FORWARD (実行委員長挨拶)..... 2P-3P
◆OUR 3DAYS（3日間のスケジュール一覧)..... 4P
◆ VENUE GUIDE MAP(会場案内)..... 5P

◆ PROGRAM

・OPENING KEYNOTE （基調講演）「世界のアウトドア産業からのエール」
／ジャック・デュルーリー氏..... 8P

・リスクマネジメントクロストーク「アウトドア現場からの命のバトン」
モデレーター中村正雄氏・岡村泰斗氏・稲垣 泰斗氏・八櫛徳二郎氏・平井琢氏.. 10-11P

・無料シンポジウム 西多摩から考える『持続可能なアウトドア』の未来～産官学民で向き合う
自然・まち・観光の調和～／モデレーター松本祐一..... 12-13P

・FIELD WORKSHOP ラフティング教育一考察／岡村泰斗
川遊び安全教室プロフェッショナルエディション／平井琢
リバークリーンから考える LNT の可能性と難しさ／伊東 由宥子..... 14-15P

・ワークショップ ×3 分科会
01. ウィルダネスベイシックライフサポート
野外救急法における新たな資格の紹介／岡村泰斗
02. これからのキャンプカウンセリング
- 若者の『自意識の檻』にどう向き合えばいいのか？ - ／阪田晃一
03. アウトドアビジネスの最前線：アドベンチャートラベルとガイドの
役割／石山直人・師岡龍也・村野夏生
04. アウトドアリスクマネジメントのススメ／栗原亜弥..... 16-17P

05.「あらゆるツアーの楽しさ」を言語化し解像度を高める。
フロー理論を実際の現場に応用する。
～トータルフローマネジメントの考え方～／木村雄志
06. 日本独自の自然観を基に、混迷の世界を和に導く／甚川浩志..... 18-19P

07. リサーチゼミナール／徳田真彦
08.LNT カスタマーサポートセンター／寺田達也
09. 土中の水循環から環境を考える／メグル水講座／後藤めぐみ
10.SPEC（生徒中心・課題解決・体験的・協働的）を次のレベルへ
／ジャック・デュルーリー..... 20-21P

11. パドラー目線で考える LNT ／太田旭
12.「都会の小さな農園 × 子ども達」との LNT 実践例／佐藤有里..... 22-23P

◆ WEAJ・LNTJ とは..... 25P
◆実行委員会メンバー紹介..... 31P

OPENING KEYNOTE

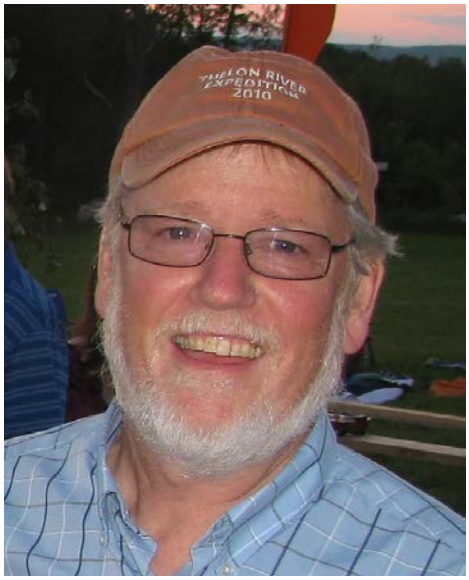
日　時	2024 年 6 月 18 日（火）
会　場	あきる野市ルピア
時　間	19:00 ～

基調講演

「世界のアウトドア産業からのエール」

ジャック・デュルーリー氏

（Leading EDGE, 共同オーナー兼 CEO）



通訳：林綾子氏 (びわこ成蹊スポーツ大学)

要旨：

ポール・ペッツォは、アメリカにおけるウィルダネス教育をつなぐ「糸」と言えよう。彼は、初期のアウトワードバウンド（OB）に貢献し、全米野外指導者学校（NOLS）を立ち上げ、ウィルダネス教育協会（WEA）を共同創設者であった。私は、1969 年に初めて彼の話を聞き、すぐにウィルダネス教育は私がしたかった仕事であると感じた。私は、そのウィルダネス教育の波に乗り、その教育は、21 世紀へと進化した。この講演では、アメリカにおけるウィルダネス教育の歴史に基づき、私の野外教育者としてのキャリアとともに、ポール・ペッツォ、WEA、NOLS、OB が果たした役割について紹介する。また、今日におけるウィルダネス教育の発展に影響を与えた様々な組織について紹介する。

NOTE

Mottainai Banana
もったいないバナナ

フルーツで
スマイルを。

CAMP・BBQに
バナナ炭!

バナナ炭は、備長炭やマングローブ炭と比較して着火しやすく
簡単に熾火（おきび：炎を上げず芯の部分が真っ赤に燃えている状態）になります。
燃焼時間は比較的短いため、ほかの炭と一緒に使用するのもオススメです。

＼その他にも、このような活用法を検討しております！／

脱臭調湿剤として

土壌改良剤として

飼料添加剤として

DoleはMottainaiプロジェクトの一環として
「バナナ炭」の活用に取り組んでおります。

リスクマネジメント クロストーク

「アウトドア現場からの命のバトン」

モデレーター
中村 正雄氏

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授
moderator

自然体験活動における安全マネジメントについて、研究を進めています。マネジメントすべきはリスクなのか、それとも安全なのか、そのあたりも気になるところですが、今回はモデレーターとしていい感じでクロストークに関わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

Wilderness Education Association、Wilderness Medicine Training Center、Leave No Trace など数々の野外指導者のプレフェッショナル資格の国内導入を果たしたのは、自然の持つ教育力を活用できる野外指導者を育てるため。野外教育の現場で、リスクと教育のバランスをどのように保っているのか話題提供します。

岡村 泰斗氏

株式会社
backcountry
classroom CEO

稲垣 泰斗氏

Tight medical
works 代表

北里大学医学部地域総合医療学 特任助教 / ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパンファカルティ / 日本救急医学会専門医。野外、病院前、救急外来、集中治療室と、各フェーズで診療を行ってきた経験を現場のみなさんに還元します。

日　時	2024年6月19日（水）
会　場	S&Dたまぐーセンター
時　間	18:00～

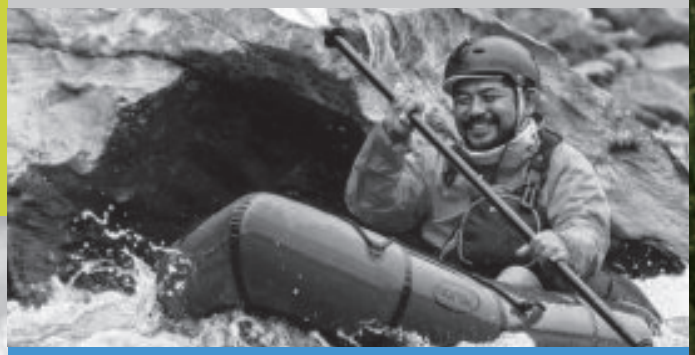
1995年より東京消防庁で27年間勤務、ハイパーレスキュー勤務などを経て、2023年に退職。一般市民の減災、防災を目的にさまざまな分野の専門家と協力し、一般社団法人西多摩減災防災ネットワーク、一般社団法人消防救助技術開発を設立し、活動を続けている。

八櫛 徳二郎氏

減災防災クリエイター

平井 琢氏

アムスハウス＆フレンズ代表



長瀞町でラフティングやパックラフトなどリバーツアーガイド会社「アムスハウス＆フレンズ」の代表。
ラフティング協会公認マスターガイド / ラフティング協会技術安全部会長 / 急流救助講習レスキュー３ジャパンインストラクター / 長瀞町観光協会副会長

アウトドアプログラムからすべてのリスクを排除することはできず、そしてそうすべきではありません。そこにはアクティビティから切り離せないだけでなく、価値ある固有のリスクも含まれているからです。質の高いプログラムを実現するためには、プログラムのミッションを踏まえつつ、予め受け入れているリスク、または合理的に予想されるリスクを管理する、すなわちリスクマネジメントを進めていく必要があります。

不確実性、不明確さを有するアウトドアプログラムのリスクマネジメントは、刻々と変化する状況にフィットするしなやかな対応能力（レジリエンス）を高めていくことが肝要です。そのためには「うまくいかなくなりそうなこと」を減じるだけでなく「うまくいく（予定通り行く）ことにつながること」を増やしていくという発想も求められます。加えて、たとえ事故やヒューマンエラーが生じても、それが重大事故に至らないようにするためのマージン（余白 / 余裕）をつくり出す習慣がリスクマネジメントを洗練させていきます。

今回のクロストークでは、野外指導者として、教育の立場から岡村泰斗氏（アウトドア エデュケーター）、ガイドの立場から平井琢氏（ラフティング マスターガイド）から、それぞれが考える野外指導現場のリスクマネジメントのキーファクターをご紹介いただきます。また、現場と医療をつなぐレスキューの立場から八櫛徳二郎氏（減災防災クリエーター）、さらに最終ターミナルである医療の立場から稲垣泰斗氏（救命救急医師）にもご登壇いただきます。４氏には「教育とリスクのバランス」「事前準備」「現場での判断」「状況の安定化」「リスク共有」等々をキーワードに、アウトドアでの事故発生の最小化のポイントや事故発生後の被害拡大抑止のポイントについて熱く語っていただきます。

SPECIAL S

第12回ジャパンアウトドア リーダーズカンファレンス

西多摩から考える

～産官学民で向き合う 自然・まち・観光の調和～

奥多摩町長
師岡伸公氏

MOROOKA NOBUYUKI

YOSHIMOTO KOUJI

檜原村長
吉本昂二氏

「持続可能なアウトドアに向けて」～ 4市町村の取り組み

西多摩地域は首都東京の郊外でありながら、その半分以上を国立公園が占めるという、日本においても世界においても特異な地域であり、まちと自然が融合する場所であることで、私たちに自然とどのように向き合うべきかを常に問いかけます。

コロナ禍が一つの区切りを迎え、国内外の旅行者数は回復傾向、西多摩の各地でも自然を楽しむ人たちが訪れにぎわいを取り戻している一方、オーバーツーリズムで環境負荷が高まっています。人口減少・少子高齢化が進む西多摩にとって、観光やアウトドアビジネスは地域の活性化の重要な産業であるからこそ、自然・まち・観光の3つの調和は重要なテーマといえます。

そのようななか、2023年、青梅市とあきる野市は、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムを提唱するNPO法人Leave No Trace Japanとの連携協定を結びました。その他の自治体も様々な試みを行っています。誰もが小学校でSDGsを学ぶこの時代において、今まで以上に環境と調和した観光のあり方、地域のあり方を地域全体で考える動きが生まれています。第12回ジャパンアウトドアリーダーズカンファ

YMPOSIUM

2024.6.20 16:00-17:30THU

青梅市 S&D たまぐーセンター

持続可能なアウトドアの未来

モデレーター
松本祐一
（多摩大学 / カンファレンス実行委員長）

▶「アウトドアの担い手の今」～
「西多摩におけるアウトドアビジネスに関する調査」

レンスのテーマは「西多摩から考える日本のアウドドアビジネスの未来」です。野外教育のプロフェッショナリズムをテーマとする Wilderness Education Association Japan のカンファレンスとして正面から「ビジネス」としての野外教育やアウトドアの世界に向き合います。

カンファレンス最終日を飾る本シンポジウムは、“西多摩から考える「持続可能なアウトドア」の未来～産官学民で向き合う自然・まち・観光の調和～”と題し、西多摩の４市町村（青梅市、あきる野市、奥多摩町、檜原村）の首長が登壇、それぞれの自治体で、どのような自然・まち・観光を調和させる取り組みをしているかをご紹介いただき、その課題や可能性についてパネルディスカッションで対話します。また、カンファレンス開催に合わせて実施した「西多摩におけるアウトドアビジネスに関する調査」結果も発表します。

今、静かに縮小しつつある地域のなかで、自治体だけでなく、野外指導者、観光およびアウトドア関連事業者、研究者・学生、そして西多摩の自然や観光、地域活性化に関心のあるすべての市民とともに、これからの「持続可能なアウトドア」の未来を考えます。

青梅市長
大勢待利明氏

OSEMACHI TOSHIAKI

HIROYUKI NAKAJIMA

あきる野市長
中嶋博幸氏

FIELD WORKSHOP

WEAJ　ラフティング教育一考察

集合場所
御嶽駅

リーダーシップについて学びたい方、ラフティングを体験したい方、多摩川に飛び込みたい方、大歓迎です！

・参加者全員がラフティングに乗り、実際にリバーダウンを行います。

持ち物 替えの下着・タオル

岡村 泰斗（backcountry classroom Inc.）

集合時間 8:30

WRM　川遊び安全教室 プロフェッショナルエディション

集合場所
S&D
たまぐー

川の魅力を存分に味わいながら、安全に楽しむための知識と技術を身につけましょう。

主なスケジュール
集合、河原への移動
セルフレスキュー（自己安全確保）
活動環境の把握
判断の根拠
活動装備や服装に関する考察
基本的なリバースイミング
基本的なスローバック救助

持ち物 動きやすい服装

河原を歩くこと、水に濡れることを考えたシューズ
希望者には川に入るためのライフジャケット・ヘルメット・ウェットスーツを準備しています。（5 名分程度？）

平井 琢（ラフティング協会技術安全部会長）

集合時間 9:00

リバークリーンから考える LNT の可能性と難しさ

集合場所
S&D
たまぐー

LNT の原則が教えてくれる可能性と、一筋縄にいかない葛藤

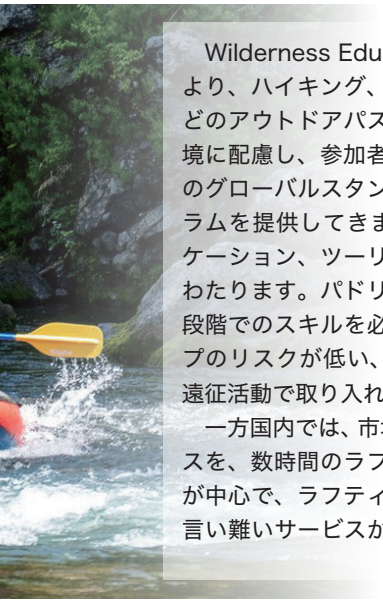
持ち物 動きやすい服装

伊東 由宥子（あすくり青梅）

集合時間 9:00

実施日 6月19日(水)

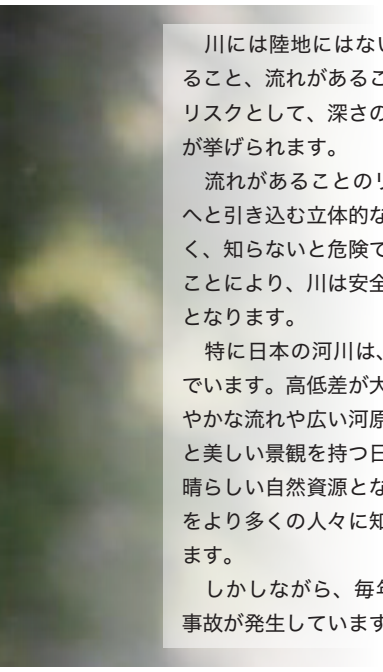
※雨天時は 20 日プログラムと変更



Wilderness Education Association(WEA) は、1977 年より、ハイキング、パドリング、バックカントリースキーなどのアウトドアパスーツによる遠征活動を通じて、安全と環境に配慮し、参加者の体験の質を保証できる野外指導者養成のグローバルスタンダードと、養成機関に対する公認プログラムを提供してきました。WEA を採用する業界は、エデュケーション、ツーリズム、インストラクションなど、多岐にわたります。パドリングの中でもラフティングは、スタート段階でのスキルを必要としない、チームで活動する、フリップのリスクが低い、積載量が多いなどの特性から、WEA の遠征活動で取り入れられる頻度が高いアクティビティです。

一方国内では、市場ベースのサービスにより、瀬の続くコースを、数時間のラフティング体験で終える商業ラフティングが中心で、ラフティングのもつ潜在特性を活かしているとは言い難いサービスが中心です。また、これにより、ガイド育成についても、テクニカルスキルが中心となり、ファシリテーション、リーダーシップなどの情報が含まれていないのが現状です。

このフィールドワークショップでは、プロガイドのサポートを受けながら、彼らとともに、ラフティングというアクティビティを通じて、どのような指導的介入、カリキュラムにしたら、参加者のリーダーシップを育成できるのかという、実験的なラフティングトリップを実施します。参加者は、通常のカンファレンス開始時間よりも早く、トリップのスタート地点である、青梅線御岳駅に集合します。参加者全員がラフティングに乗り、実際にリバーダウンを行います。気軽に参加できるのがラフティングの最大の強みですので、ラフティング未経験者の方も参加可能です。リーダーシップについて学びたい方、ラフティングを体験したい方、多摩川に飛び込みたい方、大歓迎です！



川には陸地にはない特徴的なリスクがあります。それは水があること、流れがあること、に起因しています。川の水が持つ特有のリスクとして、深さの変動、水温、さらには目に見えない障害などが挙げられます。

流れがあることのリスクには、急な流れや渦（エディー）、川底へと引き込む立体的な力、などがあり、これらは一見、予測が難しく、知らないと危険です。これらのリスクを理解し、適切に備えることにより、川は安全に楽しむことができる貴重な野外フィールドとなります。

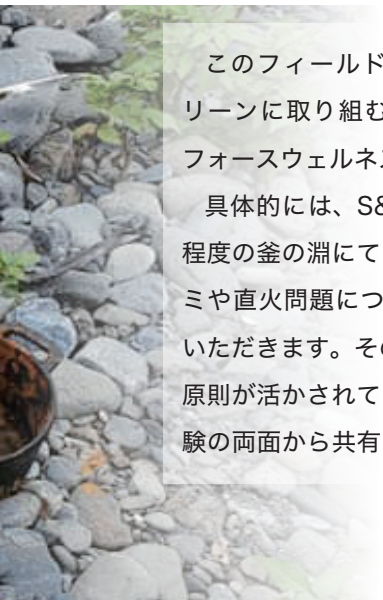
特に日本の河川は、世界でも類を見ないほど地形の変化に富んでいます。高低差が大きく、多くの滝や急流が存在する一方で、穏やかな流れや広い河原も点在しています。そのため、清らかな流れと美しい景観を持つ日本の川は、アウトドア活動を楽しむための素晴らしい自然資源となっています。私たちは、これらの自然の魅力をより多くの人々に知ってもらい、楽しんでもらいたいと考えています。

しかしながら、毎年夏になると耐えることのない河川での水難事故が発生しています。これは「川は危険」という社会的なバイアスを生み出し、野外指導者のみならず一般の方のリバーリテラシー（川に関する知識や安全意識）の育成を妨げている現状があります。川の正しい知識と安全対策を普及させることは、事故を未然に防ぎ、川をもっと身近で安全に楽しむために必要不可欠です。

このワークショップでは、川の危険箇所や危険行動について参加者とともにレビューし、実際のフィールドで確認します。例えば、流れの速い場所や深さが急に変わる場所、渦になっている場所、致命的な事故につながる岩などの危険要素をどのように見分けるかを学びます。また、万が一事故が発生した時の簡便な救助方法についても体験します。具体的には、溺水者を安全に救助するための基本的な技術や、救助する側の安全管理の方法について実践を通じて学びます。

さらに、溺水者役の立候補を募集しています。参加者が積極的に参加し、リアルなシミュレーションにてワークショップやデモンストレーションを行うことで、臨場感を感じいただければと考えています。

このワークショップを通じて、参加者全員が川の安全性について深く理解し、楽しみながら学ぶことを目指しています。川の魅力を存分に味わいながら、安全に楽しむための知識と技術を身につけましょう。



このフィールドワークは、西多摩エリアでリバークリーンに取り組むあすくり青梅（釜の淵公園周辺）とフォースウェルネス（秋川界隈）が担当します。

具体的には、S&D たまぐーセンターから徒歩１０分程度の釜の淵にてリバークリーン活動をしたのち、川ゴミや直火問題につながる LNT の原則を体験的に学んでいただきます。その後、２団体の日頃の活動を、LNT の原則が活かされている経験となかなかうまくいかない経験の両面から共有します。その上で、参加者の皆さんがそれぞれのフィールドで感じる「LNT の原則が教えてくれる可能性と、一筋縄にいかない葛藤」についてダイアローグの時間を持ちます。

私たちから答えを伝える時間ではなく、知恵や経験を持ち寄り、一緒に考える時間として共に有意義な時間を作れたらと思います！

ワークショップ３分科会

WORK SHOP 01

ウィルダネスベイシックライフサポート 野外救急法における新たな資格の紹介

日 時 2024年6月19日(水)　時 間 14:00 ～ 15:30

このワークショップでは、野外状況の文脈における、ベイシックライフサポート（一次救命処置）の知識と技能の一部を体験するとともに、野外救急法の概念と都市救急からの連続性について理解する。

この新しい資格がより多くの人に野外救急法に触れる機会を作り、すべての野外指導者が、法的な備えができた社会を目指したい。

発表者 株式会社 BACKCOUNTRY　CLASSROOM
岡村 泰斗

会場 A

WORK SHOP 02

これからのキャンプカウンセリング
- 若者の『自意識の檻』にどう向き合えばいいのか？ -

日 時 2024年6月19日(水)　時 間 14:00 ～ 15:30

『自意識の檻』と最終目標の書き換え

「我々は自らに関わることができる存在である」とはハイデガーの言葉だ。「自意識過剰」とは自分に過度に意識が向いていることを指す。精神分析学は言葉による人間の世界体験を中心に据え、言葉の有限性からくる「割り切れなさ」の抑圧が不安を生み、神経症の症状を呈すると説明する。

コロナ後の若者（キャンプ指導者）育成とは？

以上筆者が数年間の間に取り組んできたのは、自意識の檻から若者を解放し、各人の最終目標の書き換えが起こるように促すことであった。本ワークショップでは実際のケースワークを中心に若者の育成をテーマに参加者と議論する。

発表者 神戸 YMCA
阪田 晃一

会場 B

WORK SHOP 03

アウトドアビジネスの最前線 アドベンチャートラベルとガイドの役割

日 時 2024年6月19日(水) 時 間 14:00 ～ 15:30

対象者：野外教育者、アドベンチャートラベル業界、観光業関係者、ガイドを目指す方、旅行業に興味がある方、インバウンドに興味がある方

目的：アドベンチャートラベル産業の最新トレンドと今後の可能性について理解を深めるとともに、10 月スタートする AT ガイドの育成事業ついてお話しします。ガイドに求められるスキルや知識、そしてガイドの役割について。

発表者

株式会社ウィルダネスデザイン 代表取締役
石山 直人

株式会社東京山側 DMC
師岡 龍也・村野 夏生

会場 C

WORK SHOP 04

アウトドアリスクマネジメントのススメ

日 時 2024年6月19日(水) 時 間 16:00 ～ 17:30

このワークショップでは、北米のビリスター社が提供するリスクマネジメントコースを紹介するとともに、コースに含まれるリスクマネジメントチェックシートをもとに、参加者のみなさんの組織の、リスクマネジメントを診断し、リスクマネジメントに関する観点を提供します。国内のリスクマネジメント、各種野外指導の専門家、企業リスクマネジメントの専門家を講師とし、アウトドア事業者のみなさんのすべてのニーズに応えられるよう準備をしていますので、ご期待ください。

発表者

Forest Energy Inc.
栗原 亜弥

会場 A

ワークショップ３分科会

WORK SHOP

05

「あらゆるツアーの楽しさ」を言語化し解像度を高める。フロー理論を実際の現場に応用する。～トータルフローマネジメントの考え方～

日 時 2024年6月19日(水)　**時 間** 16:00 ～ 17:30

シカゴ大学心理学部教授チクセントミハイが提唱したフロー理論。ツアーの楽しさを言語化し、再現性を高めることが可能になる考え方をより深化、ツアー全体のマネジメントにも応用して、ツアー参加者の満足度を最大化するためにはどうしたらよいのか、全く新しいツアーの概念「トータルフローマネジメント」として、アウトドアビジネスの未来を一緒に考えましょう。

発表者　アクティビティリサーチ
木村 雄志

会場 B

WORK SHOP

06

日本独自の自然観を基に、混迷の世界を和に導く

日 時 2024年6月19日(水)　**時 間** 16:00 ～ 17:30

忍術をテーマに活動を始めて 12年、その中で、世界に影響力を持ち得る層が、日本文化に高い関心を持っていることを知りました。激動の時代、過渡期に差し掛かった今、日本の文化は、世界の救いになり得ると実感しています。野外教育においても、国際基準を理解した指導者を増やすと同時に、逆に日本独自の自然観や考え方を世界に発信し、国際基準をリードして行くことの重要性を提言したいと考えております。

発表者　野人流忍術　風魔忍術道場
甚川 浩志

会場 C

SOUP

~ since 2007 ~

Shinshu Outdoor Project

株式会社 信州アウトドアプロジェクト
野外教育/コミュニティビジネス
〒389-2703長野県下水内郡栄村堺6032-1
info@outdoorproject.jp
0269-87-3387

http://outdoorproject.jp

ワークショップ３分科会

WORK SHOP 07

リサーチゼミナール

日 時 2024年6月20日(水) 時 間 9:00 ～ 10:30

今回はびわこ成蹊スポーツ大学大学院生の田井誠人さんより、「ASE 活動がサッカーユースチームの心理的安定性と責任感に及ぼす影響：仮想的有能感に着目して」について発表していただきます。また、今回は研究発表が一題でしたので、残りの時間を活用して、研究者と実践者の二股（言い方がよくない by バク）をかけるバクさんこと岡村泰斗さんから、研究者の視点と民間の視点の違いをご説明いただき、どうしたら民間と研究者がコラボレーションできるのか、わかりやすく解説していただきます。

発表者 大阪体育大学
徳田 真彦

会場 A

WORK SHOP 08

LNT カスタマーサポートセンター

日 時 2024年6月20日(水) 時 間 9:00 ～ 10:30

このワークショップでは、仮想の “LNT カスタマーサービスセンター ” へ寄せられた様々な LNT への苦情、質問、疑問に LNT 関係者が答え、コンペ形式で最適な回答を模索しながら LNT への深い理解へ繋げたいと思います。どんな球が飛んできてもヒットが打てる打率高い指導者を目指して、一緒に研鑽しましょう！参加の際は「LNT への批判的、否定的な意見」を持参してくださいね♪

発表者 ひの社会教育センター /LNTJ 指導者委員会
寺田 達也

会場 B

WORK SHOP 09

土中の水循環から環境を考える メグル水講座

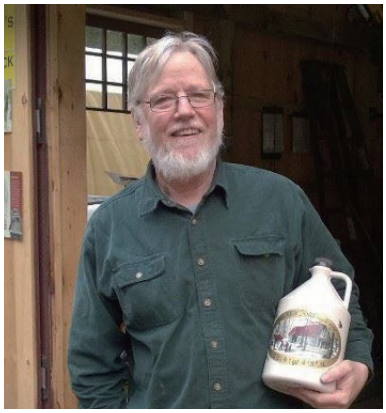
日 時 2024年6月20日(水) 時 間 9:00 ～ 10:30

土中の水環境から考えると、自然環境に対する負荷をイメージしやすくなります。どんな状況が環境を悪化させるのか、逆にどうなったら水の循環がよくなっていくのか。水の流れの視点で、お話しします。

発表者 グラビティカヌースクール代表
後藤 めぐみ

会場 C

WORK SHOP 10



SPEC（生徒中心・課題解決・体験的・協働的）を次のレベルへ

日 時 2024年6月20日(水) 時 間 11:00 ～ 12:30

このワークショップは、SPEC（生徒中心・課題解決・体験的・協働的）に詳しい参加者向けのものです。WEAのテキストである「The Backcountry Classroom」に掲載されている SPECのアクティビティを用い、SPECの理解度を示すチャレンジ（レッスン）をデザインします。このワークショップを通じて以下のスキルを獲得することができます。

・SPECの考え方を理解し、実践できるようになります。
・SPECを実践するためのアクティビティ、ツール、テクニックを理解します。
・SPECに関する様々なアクティビティ、ツール、テクニックを教室で体験します。

発表者 LEADINGEDGE, 共同オーナー兼 CEO
Jack Drury 通訳 (岡村泰斗)

会場 A

ワークショップ３分科会

WORK SHOP 11

パドラー目線で考える リーブノートレイス（LNT）

日 時 2024年6月20日(水)　**時 間** 11:00 ～ 12:30

自然の中で楽しむウォーターアクティビティ（カヤック、カヌー、SUP、ラフティング、リバーボード等）は、一見して自然への負荷が少ないと思われがちですが、実際にはそうではありません。

そのため、私たちはフィールドで行う普段の行動を共有し、LNT の七つの原則に照らし合わせながら、それらの行動がフィールドに与える影響について考え、皆で解決策を出し合うワークショップを開催します。

発表者　ぼちぼちアドベンチャー　すその
太田 旭

会場 B

WORK SHOP 12

「都会の小さな農園×子ども達」との LNT 実践例

日 時 2024年6月20日(水)　**時 間** 11:00 ～ 12:30

東京都下、国立市谷保地域に広がる田んぼと青い空。

開放的で豊かな空間は、地域や子どもたちにとってはもちろんのこと、人が生きる上で大切な資源です。

身近な自然環境としての農地が存在することは、子どもたちの心身の成長、自尊心の向上を助けると共に、四季を感じさせる風景が地域住民を癒し、防災拠点などの活動の場としても大きな意義を持っています。

私たち「くにたち農園の会」は東京に残る農地や自然環境を舞台に、田んぼや畑の体験活動、乳幼児～青年期まで幅広い年齢層への子育て支援を行なっています。

今回のワークショップでは、LNT 基本のき、事例・活動紹介をしながら、LNTを知るきっかけの場にしましょう。

●藍の生葉たたき染体験・その辺の野草・ハーブティ付き（500 円）

発表者　特定非 営利活動法人 くにたち農園の会
佐藤 有里

会場 C

HOKKAIDO GREAT
アソビマスター
ADVENTURE TEAM

KAYAK & SUP INSTRUCTOR

WILDERNESS FIRST RESPONDER CERTIFIED

- Kayak & SUP Instructor Trainer
- SUP Instructor & Guide
- Custom Small Group Adventures
- Outdoor Curriculumn Instructor
- Leave No Trace Instructor
- Native English Speaker / 日本語を話す

AS SEEN ON VIATOR
Light-Up-SUP

LICENSED AND INSURED LOCAL HOKKAIDO BUSINESS

www.asobi-master.com 090-6862-4965 asobi.master

Direct booking and locals discount avaliable via website contact form request.

体験が、人を変える。

エンカレッジのアウトドア研修

Encourage Inc.

Sense of Nature

WILDERNESS TOKYO

PRESERVING TOKYO'S R NATURE
FOR THE FUTURE

澤乃井
小澤酒造株式会社
Ozawa Sake Brewery

KEEP PADDLING!! KEEP SMILING!!
MITAKE RACERAFTING Club

WOODLAND BOTTY
大峰 CAMPUS

自然村

CINEMA NEKO
シネマネコ

奥多摩総合開発株式会社

MORIPARK
OutdoorVillage

GRAVITY OKUTAMA

TOKYO cycling × trekking
TREKKING OKUTAMA・OME

Village

B・B・Q
B-YARD

東京チェンソーズ

東京山側 DMC

TOKYO MOUNTAIN TOURS

Sponsoring organizations

WEAJ (Wilderness Education Association Japan) とは

WEA（Wilderness Education Association) は世界５０カ国に指導者が広がる、野外指導者及び教育者の国際ネットワークです。1977 年にポール・ペッツォが４つの大学と連携し、質の高い野外指導者を育成するカリキュラムを導入することにより始まりました。その後長年に渡り、アメリカの野外指導者育成のナショナルスタンダードとして認めら、今日では野外指導者養成機関を持つ多くの国にグローバルスタンダードとして採用されています。WEAJ は日本の野外指導者の専門性の向上と職業としての確立を目指し、世界初の WEA との同盟協定のもと 2013 年に設立しました。

LNTJ (Leave No Trace Japan) とは

Leave No Trace とは、環境に対するインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムです。すべてのテクニックが、７つの原則を基にしており、誰にでもわかりやすく、楽しく実践することができます。世界９０カ国のアウトドアレクリエーションにおける行動基準となっています。

国内では、野外教育指導者の国際ネットワークである、Wilderness Education Association Japan が、2013 年に国内最初となるマスターエデュケーターコースを開催し、国内での指導者養成を開始しました。2021 年に、特定非営利活動法人リーブノートレイスジャパンが設立し、LNT の正式な国際ブランチとして、活動を引き継ぐこととなりました。

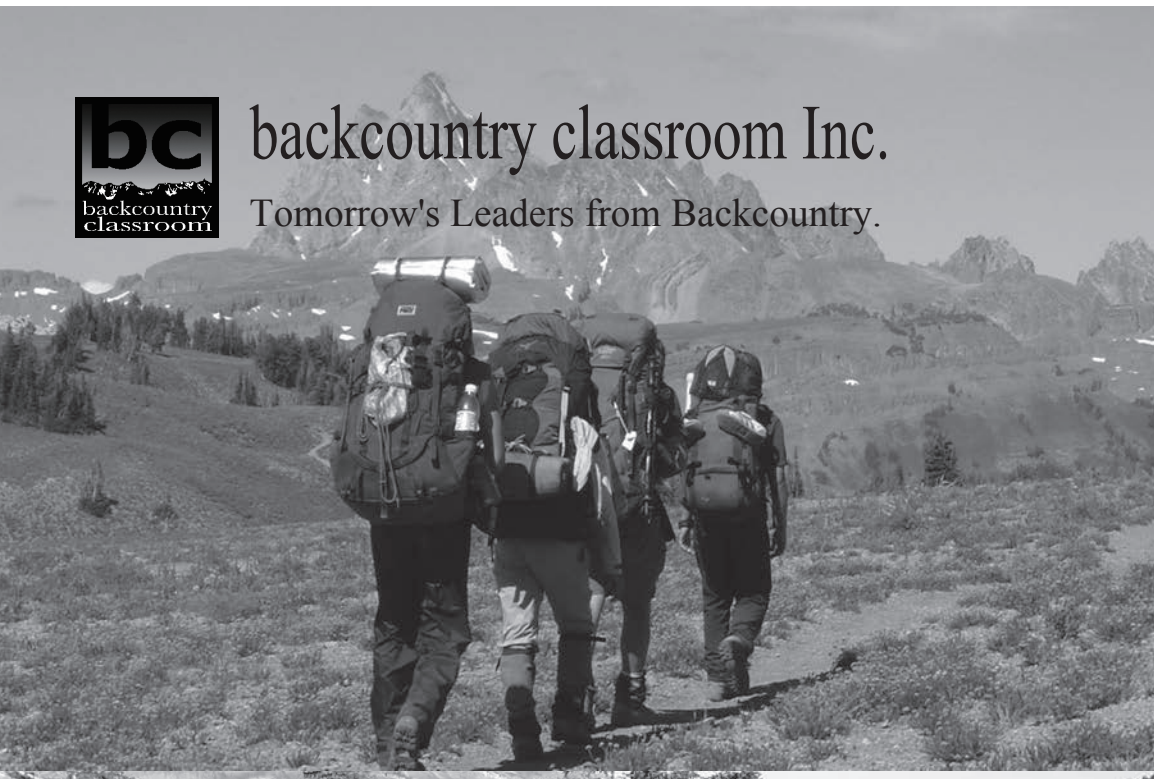
展示企業

LOG 様

「LOG」は、「自然」「ライフスタイル」をテーマに幅広く情報発信やオリジナル商品の販売、リアルでの活動を展開しています。

backcountry classroom Inc.

Tomorrow's Leaders from Backcountry.



山を学び

山から学ぶ

Outdoor Leadership

学校、企業、スポーツクラブ、コミュニテーを対象に、野外教育の手法を用いて、幅広いリーダーシップトレーニングを提供します。

Outdoor Professional

野外指導者を対象に、指導者養成、資格コース、講師派遣、コンサルティングを通じ、専門性の向上、維持をサポートします。

Outdoor Fun

野外愛好者を対象に、ハイキングテクニック、野外救急法、リーブノートレイスなど、安全と環境に配慮して自然を楽しむツアーや講習会を提供します。

Outdoor Consulting

野外事業者に対して、プログラム効果、リスクマネジメント、環境マネジメントについて、事業の特性に応じた評価方法の設計、分析、報告を行います。

株式会社 backcountry classroom
本社：〒3003253 茨城県つくば市大曽根 3765-4
営業所：〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-10-3
(P)029-895-3775(F)029-895-2867(E)info@backcountryclassroom.jp

【HP】 【Facebook】 【Instagram】 【ﾒﾙﾏｶﾞ】

あなたのハートも
NicePick
<HP>https://mitakerc.net/
住所｜東京都青梅市御岳本町359A-yard内
みたけレースラフティングクラブ
KEEP PADDLING!! KEEP SMILING!!
MITAKE
RACERAFTING
Club

LEAVE NO TRACE Japan × NAMIMATI

私たちはこの自然を次の世代に残すために共に歩むことにしました

6+1=WEA

野外指導者育成のためのグローバルスタンダード

www.weaj.jp

executive committee

第 12 回日本アウトドアリーダーシップカンファレンス実行委員会

1 実行委員長
松本 祐一
多摩大学経営情報学部・
多摩大学
総合研究所

2 副実行委員長
高木 誠
株式会社グッドライフ
多摩

3 事務局長
柴田 大吾
（株）A-STROKE

4 **後藤 めぐみ**
グラビティ

5 **木村 雄志**
アウトドアビジネス
コンサルタント

6 **村野 秀二**
あすくり青梅

7 **伊東 由宥子**
あすくり青梅

8 **師岡 龍也**
一般社団法人
フォースウエルネス

9 **村野 夏生**
一般社団法人
フォースウエルネス

10 **森村 ゆき**
RunforSmile
株式会社

11 **片岡 尚子**
（株）A-STROKE

12 **岡村 泰斗**
株式会社
backcountry
classroom ／ WEAJ
／ LNTJ

WEAJ

LEAVE NO TRACE Japan

Nishitama,TOKYO

THE 12TH JAPAN OUTDOOR LEADERSHIP CONFERENCE

2024.6.18-20

主催：一般社団法人Wilderness Education Association Japan
共催：NPO法人Leave No Trace Japan
主管：第12回JOLC実行委員会